

演奏で感動を与えたい

中台中学校
吹奏楽部

わたしたち中台中学校吹奏楽部は、今までブラスバンド部として活動していましたが、今年度から晴れて吹奏楽部となりました。部員は、3年生22人、2年生12人に、この春1年生が20人入部して合計54人です。顧問の鹿野谷先生は、ひつこくで言つと『熱い』先生で、時には厳しく、時にはやさしく指導してくれまます。おかげで少しずつですがいい音が出せるようになってきました。

練習は、水曜日以外はほぼ毎日朝と放課後に行っています。また、日曜日にも練習することがあります。先生からは、基礎練習をかかさないと、音に感情が入れられるように、声を出して演奏曲を歌つこと、個人



基礎練習にも熱が入ります

技術のレベルアップを図り全体のまとまりをだすことなどの指導を受けています。練習は厳しいですが全員仲がよく、一人ひとりが



全員で目指せ！ 東関東大会出場

とりが出す音が集まって、みんなでの一つのものをつくる楽しさがあります。今は、「全員が団結して、素直な気持ちで音楽を楽しみ、感動を与えられる演奏をしよう」を合言葉に、昨年、県大会本選まで進んだ夏の吹奏楽コンクールでの東関東大会出場を目指して練習には励んでいます。

また、加良部まつりやふるさとまつりにも参加して、たくさんの人たちに私たちの演奏を聞いてもらいたいと思います。どうか応援してください。

なかまと一緒に

成田の歴史を知りたくて

成田市古文書クラブ

このクラブは義民木内惣五郎をまつる宗吾堂のそばにある公津公民館で、古文書から成田の歴史を学ぶサークルです。国学院大学の大谷真夫先生を講師に迎え、平成元年の11月に発足し、最初は先生の専門である利根川や印旛沼の開発、周辺の村々の文書解説から始まりました。私たちがこのクラブを始めたきっかけは、自分の家に古文書があつて、それを解読したかつたからです。会員の中には、定年になって夫



一文字ずつ解読しています



成田古文書クラブのみなさん

です。ですから向学心旺盛ですよ。平均年齢は少し高いかもしれませんが、いつも活気にあふれ、元気がいっぱいクラブです。

例会は毎月第2・4金曜日の午後9時に開いていますが、一つの古文書を読みながら分擔しながら読んでいきます。入会当初はなかなか読めなかつた会員も、大谷先生の適切な指導で少しずつ読めるようになりました。また、史料の歴史的背景まで理解できるようになると、もっと勉強したいと意欲がわいてくるようになります。

また年に一回、例会で取り上げた史料の現地見学会を開催して、原文に触れながら、関連する史料や史跡・名勝を訪ねるなど、親ほくを深めながら研さんを積んでいるところです。

市長の

牛が田んぼの シロカキを

秋田県雄勝郡雄勝町

須藤清さん（並木町）

私のふるさととは秋田県の雄勝町です。山形県に隣接する盆地の町です。小野小町の生まれた町として知られています。毎年6月の第2日曜日に小町まつりが開かれ、秋田美人が小野小町に扮して会場を練り歩き参加者の目を引いています。また、相模の「清国」の出身地でもあります。子どものころは、家の手伝いをよくしました。田んぼに牛が入ってシロカキをしていたのが、今でも強く印象に残っています。山に囲まれた地域ですから、山菜が豊富です。コシヒメ、ゼンマイ、ワラビ、ミズナ、山ウドなどたくさん採れました。2、3年前に道の駅「おがち」が出来て、地元の物産がずらりと並びようになりました。昨年の全国道の駅コンクールで優秀賞に選ばれて、かな



「小町まつり」には秋田美人が勢ぞろい

りの盛況のようです。成田には昭和49年から住んでいますが、卸売市場がオープンと同時に市場内にそば屋を出店しました。当時、市場周辺は山の中のさみしいところ。こんなに開けるとは思ってもいませんでした。朝早い仕事ですが、威勢のいい元気な笑顔に毎朝会えるのがいいですね。でも、何年たっても緑豊かなふるさとこの景色は忘れられません。ぜひ一度雄勝に来てたんせ。

ふるさとトーク

ひろば

スクスク のびのび

稲垣早紀ちゃん(4歳) 詩台
有哉くん(1歳)

公園に行くと二人ともすべり台に夢中。保育園の遠足では成田山公園に行くのよ。お母さんの作ってくれるお弁当が楽しみ。梅干し入りのおにぎり忘れないでね。



ペット大好き



奈良俊子さん(松崎)
シルク(メス)

シルクはもうすぐ2歳になるアビシニアン。好奇心が旺盛な猫です。とても健康で、病気はしませんが、毎年定期的に検診を受けています。健康管理は飼い主の責任ですよ。

佐藤

天ちゃん(三里塚御料)



こんにちは
赤ちゃん

堤

海登くん(橋賀台)

